



どじょうの ささやき

44号 2011年9月

発行 丸永建設株式会社

〒692-0023 島根県安来市黒井田町1895-3

TEL 0120-976-510

FAX (0854) 23-2348

HP <http://www.marunaga.jp/>

丸永建設の新しいモデルハウス

10月8日(土)~10日(祝)完成見学会!!

『四季の光を活かす家』10月8日オープン!



建設コストの総額を押さえながら安全性・快適性を確保するために、あえて狭小地にモデルハウスを建設いたしました。
モデル価格2,200万円(土地、建物、消費税込み)で実現した居住性と快適性をどうぞご体感下さい。

丸永建設は、安来市西御幸に新しいモデルハウス『四季の光を活かす家』を建設しています。8月末には「構造見学会」を開催し、参加された多くの方から驚きの声を頂きました。

10月8日(土)~10日(祝)には完成見学会を開催予定しており、早くも期待が高まっています。

狭小地(約29坪)に

駐車場付き一戸建て

今回のモデルハウスは、敢えて旧住宅街の小敷地に「快適でオシャレな家」を建てることに挑戦しました。もちろん長期優良住宅で、玄関先には車2台分の駐車場も付きます。

ご近所では「あんな狭い所に家を建てるのは無理」だともうばら噂になっていたそうですが、そこが狙いでもありました。



5m×18m、約29坪の小敷地にも「オシャレで快適な家」が建つ。

パッシブソーラー^{※1}の家は自然と仲良く暮らす家

設計のコンセプトは「四季の光を活かす家」です。「快適さ」をエアコンなどの機械に頼るのではなく、太陽の光と熱を四季それぞれに応じて活用出来る新しい素材を使い、同時に家そのものの断熱性を高めること



インナーバルコニー床下の蓄熱パネル。夏は涼しく冬暖かい秘密はココにある。

とで実現します。

日本人が昔から自然と上手に付き合ってきた知恵を活かす最先端の技術と考え方だと思えます。

「暮らしを楽しむ家」を施主様と共に作りたい

一本一本吟味した材木で建てる丸永の家は、安心・安全はあたりまえ。家族と末

長く暮らし、日々の暮らしを楽しめる家を、施主様と一緒に作るのが私たちの願いです。

モデルハウスは、そういった想いを形にする上でのひとつのご提案です。より良い家を建てていただくためのヒントが沢山詰まっています。どうぞ、ご自身で見ても、感じてみてください。

※1 太陽熱を取り入れるのに機械や動力を使わない仕組み。

10月8日(土)・9日(日)・10日(祝)

『四季の光を活かす家』完成見学会

会場◇安来市西御幸(ご案内しますので下記にお電話下さい)

丸永建設 0120-976-510

柳楽光里 日本画展

『野原』

私の野原へ
あの日埋めた宝物を
探しに来ませんか?

Stand alone!
And persevere in doing.
But if you are very lonely.
Just time, come back to this field.
Come look up at the sky with me.
Miracles are in the palm of your hand.
So never give up.

10月14日(金)～10月18日(火)
9:00～18:00
初日12:00～最終日17:00まで。
会場・LOACH

【作家紹介】

柳楽光里 (なぎら こうり)

- ・日本画家。島根県安来市在住。
- ・「たたら」をテーマに日本画を制作し、山陰を中心に、個展、合同展を開催。
- ・「精炎 VOI:2」
- ・エッセイ: 「宇宙(そら)の香 匂い立つ世界」(文・絵を記載)

mimosa in LOACH 7th

10/2 (SUN) 10:00～16:00

今年も「秋の一日マルシェ」オープンです!

...豊田大量のハンドブツアト風【mimosa】。チキワ城の展示をほ...
...の、専らしのスバリスとをみる民衆らしい、風情のディスプレイ...
...の仕方など、インテリアの提案もあめりけを添えています...
...。今後は東京の豊田に出入り、またまたアト風と民衆スバリス...
...。アト風もあめりけました。

貴方の素敵な秋冬に、mimosaの一日をお役立て下さい。



「mimosa in LOACH」はいつも大盛況です。

結成したのがちようどもミ
モザの花の時期で、一小さい
花が寄り添って素朴な花を
形作るところがイメージに
ピッタリだった。ので
【mimosa】と名付けたそう
です。

mimosa (ミモザ)の由来は?

「mimosa in LOACH」は、作品そのものを単体で見せるのではなく、「暮らしを楽しむ空間」としてディスプレイしています。生活の一部を見てもらう感じ。とメンバーの皆さん。「生活の中にとけ込むようなさりげなきが好きな作品展です。」とも声をそろえておっしゃいます。

「生活の中にとけ込むようなさりげなきが好きな作品展」



この飾り付けが【mimosa】の持ち味。空間を楽しむのも楽しいイベントです。

来る十月二日(日)に「mimosa in LOACH 7th」を計画している手作り作家のグループ「mimosa」取材しました。みなさんほんどんな思いで作品づくりに取り組んでいるのでしょうか。(和)

そんなmimosaの「好き」を共有できて、心を許しあえる仲間が集まりました。というメンバーは、Hasegawa Norikoさん(ドライフラワーアレンジメント)、Moriya Masakoさん(雑貨・スウィーツ)、toi.toi.oi.(布小物・スウィーツ)の皆さん。この作品展のたびに笑顔で再会できることが喜びだといっています。



手取りを取り入れて暮らしを楽しむ

「日常生活の中に手取りのモノを取り入れて暮らしを楽しむ。そうすると気持ち温かくなります。」
「一日の中のちよこことした時間を利用して手取りすることで『ほっ』としたり、季節を感じながら積み重ねる時間の中で作品が出来上がっていくことも喜びを感じます。」
手取りする楽しさと同時に、そうして生まれた作品との出会い、響き合い、また、作品を通して人との出会いも生まれることも【mimosa in LOACH】の魅力だそうです。

時代旅行

「うさぎの毛織」

明治の八角伊万里皿。

絵柄はその時代を映し出す。秋草と満月とうさぎとは軍事色の強い時代にしては穏やかだ。



よく見かける八角伊万里皿に見えるが...

田淵 正彦
(生活骨董「昔話」店主)



うさぎのんびり毛織いをしていく。

富国強兵と叫び、日清日露戦争に勝ち進んでいる一方で、庶民は平和を望んでいたのだから。

自然に輪が

広がってゆけば...

今後の方向性については、「今自分たちがやっていることを楽しんでゆきたいし、自分たちが楽しいと感じることが自然に伝わっていかばよい。」意識的に拡大していくのではなく、「自然に」輪が広がってゆけばよいと考えています。」とのこと。なに「ことも自然体です。」

夢は

「続けていくこと」

今後の夢については、「細く長く続けることかな。」と、特に野望(笑)がある訳ではないそうです。これからも肩の力を抜いた、それこそ柔らかな風に揺れるミモザの花のように、手作りの良さや優しさを届けて欲しいと思えました。

CD紹介

「虹を架けよう」

「みやぎびっきの会」(さとう宗幸会長)が発売した復興支援ソング「虹を架けよう」は、宮城に縁のあるミュージシャン達が「青春を過ごし、育ててもらった東北の町の復興を願って」歌っています。今回の震災のことを歌っているわけはありませんが、もとの素晴らしい故郷に戻って欲しいという想いが痛いほど伝わる曲です。

※CDの通信販売は、現在、専用フォームメールを利用した通信販売限定。
<http://bikkifund.net/index.html>

→こちらのHPより購入できます。



『虹を架けよう』CDは500円(送料別)。収益は「びっき子ども基金」に。

LOACH

9月～10月のイベント他

【9月】

- 5(月) ナリス化粧品「スツァ77体感会」
- 9(金) シャルレ「展示会」
- 11(日) 妙品岳トリオLIVE
- 18(日) LIVE@LOACH
- 24(土) イベント「天使の集まる庭園」
- 26(月) リビング・まつもと。「展示会」

【10月】

- 2(日) mimosa「秋の1日マルシェ」
- 8(土) フリーライブ
- 9(日) イベント「天使の集まる庭園」
- 14(金) } 柳楽光里(日本画)「個展」
- 18(火) }
- 21(金) やなせ好「イグス」
- 23(日) イベント「天使の集まる庭園」

※予定は変更になる場合がございます。



海に漕ぎ出す爽快感がたまらない。

趣味探訪 『シーカヤック』

安来市・仲佐様
(H19、新築のお客様)

個人競技への興味から

いただいた名刺には「安来レイダース」の文字が。「学生時代からずっとパレールポールという団体競技をやっていたので、今度は個人競技もやりたいと考えた。」と仲佐さん。たまたま知り合いにシーカヤックをしている方があり、使っ

魅力あるイベント との出会い

ていない艇を頂いたのが始まりだそうです。

ある時『SEA TO SUMMIT(シー・トゥ・サミット)』という、イブ

ントに出会いました。トライアスロンと同様に鳥取発祥のスポーツで、皆生から大山山頂まで、カヤック、自転車、山登りで行くというものです。



イベントでは様々な出会いも待っています。

順位やタイムを競うものではなく、「みんなで行く」のが目的なので「自然を楽しみながらできるのがいい」と仲佐さんはおっしゃいます。



シーカヤックの魅力を語る。

お話を聞いているうちに詳しく紹介したくなったので、来年の春辺り、特集を考えてみることにします。ご期待下さい。

最近のオマケで… リアルですわね

最近コンビニで販売されて話題になったのが、この写真に写っている五つ。



後左：ウルトラマン、後中：ビートル機、後右：ウルトラホーク1号、前左：ポインター、前右：MATRION(伊)

投稿募集のお知らせ

『どじょうのささやき』では、皆様からの投稿を大募集しています。

- ・私のこだわり
- ・オススメのお店
- ・山陰の名所レポート
- ・日常の風景
- ・お知恵拝借
- ・お薦めの本



など、

どんな内容でも結構です。なお、掲載させていただく際に若干の加筆・修正等をさせていただく場合がございますのでご了承下さいませ。

送り先 丸永建設株式会社 (担当:安達)

ハガキ 〒692-0023 安来市黒井田町1895-3
FAX (0854) 23-2348
e-mail dojyou@marunaga.jp

○編集後記○

長い真夏、迷走する台風、ホントに秋が来るのでしょいか？たしか去年は「秋」がなかったような気がしますが。そうなる困るなあ。秋が旬の美味しいものは山ほどあるのに、その魅力が100%発揮されないのは困ります。ついでに「秋あがり」「ひやおろし」の美味しいお酒のお供に困るのも悩ましい問題だなあ。